

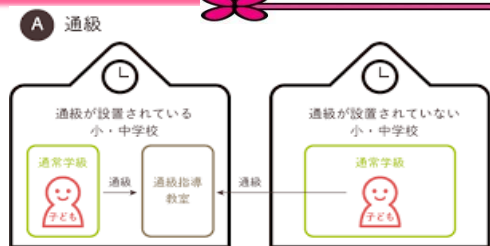


ことばの教室だより

白岡市立篠津小学校 平成30年2月号

14日のバレンタインデーにちなんで、2月は通級しているみんなに「大好き」な人(こと、もの)を聞いてみようと思っています。好きなことを話す時の子どもたちは、キラキラした瞳で夢中になって語り、「話したい!」という気持ちがあふれんばかりに伝わってきます。こちらもついつい話に引き込まれてしまいます。どんな話がでてくるか、今からとても楽しみです。

通級指導教室とは



<通級による指導>

通級による指導では、通級による指導を受ける子どもは、各教科の学習や給食などの時間はみんなと一緒に在籍学級で過ごし、週に1~2時間程度、通級指導教室に移動して、それぞれの困りごとや課題に合わせた支援や指導を受けます。埼玉県内には、「難聴・言語障害」と「発達障害・情緒障害」の通級指導教室があり、約3250人の児童生徒が指導を受けています。通常級で学ぶ障害のある子どもが増え、ニーズの高まりとともに小中学校での通級指導教室による支援体制の整備が進んでいます。

<指導内容>

一人ひとりの状況に応じて、障害による学習上、生活上の困難を改善するための指導を行います。1対1の個別指導が中心で、その子の実態、興味、進度にあわせたオーダーメイドの授業を行います。特に必要があるときは、これに加えて児童生徒の障害の状態に応じて各教科の内容を補充するための指導を行うこともあります。



<時数>

受けた指導は、小学校の教育課程に加えたり、またはその一部に替えたりできるので、他校に設置された通級指導教室で受けた授業でも、自校で行った授業と見なすことができるということになります。つまり、遅刻早退や欠席にはならないということです。

みなさんが「何となく知っている」通級指導教室について、今回は詳しくお話しします。



れんしゅう中なんだ

以前ことばの教室に通われていたお子さんの作文をご紹介します。

れんしゅう中なんだ

わたしはことばの教室にかよって正しいはつ音のれんしゅうをしていきます。わたしは話すとき友だちに、「おれんしゅうにしようよ。」と、おれんしゅうをします。そういわれるのがくやしなく、ことばの教室でいっしょけんめいれんしゅうをしています。〇組にもおなじ子がいるので、その子もくやししい思いをしているのかなとおもいます。

あるとき、クラスの一人の男の子が、「△△さん、ことば、そのままいいよ。」といってくれました。わたしは、とってもうれしくなっていました。こんなにやさしいことばをかけてくれる男の子がクラスにいたことに、おどろいてしまいました。こんな一人の男の子のきもちがどんどんたわわって、みんながこの男の子のようになつてくれたら、どんなによいだろうと思いました。ときどき口げんかなんかをすると、ことばのことをいわれるけれど、そのときは先生も助けてくれます。

「△△ちゃん、ことばの教室でれんしゅう中です。」

「だからわたしも、ことばのれんしゅう中だからいわないでね。」と、はつきりいうことが出来るようになりました。じぶんのでいえるゆうきがもてたことが、とってもよかったです。すっきりしたきもちで、ことばの教室にもいけるようになりました。

「Aくん、ありがとう!」

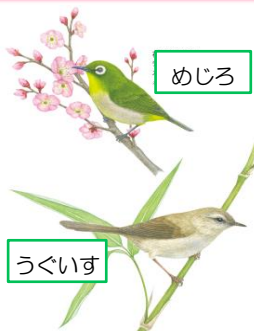
通級してくる子の中にも、「いってきま〜す」「がんばってね〜」とみんなに応援されるのが嬉しい子、目立たないようにくる子、「これがぼくのしゃべり方だもん」と何を言われても気にしない子…、みんなそれぞれです。本人や保護者の方と相談して通級時間や通い方を決めたり、障害に対する指導だけでなく、担任の先生と連携して学級での環境調整をしたりしています。このお子さんのように「すっきりしたきもち」で通級できることをめざしていきたいと思います。

能力を伸ばす・力をつける

通級に関して「障害」ということばを聞くと、「障害児?」「困ること?いやなこと?」など、不安に思うかもしれません。しかし、私は通級指導教室であることばの教室は、スポーツクラブや塾のような「能力を伸ばす場所」「力をつける場所」と子どもたちに説明しています。「泳げないからスイミングスクールに通う」「英語をもっと話せるようになりたいから、英語のレッスンを受ける」などのように、みんなと同じだよと話します。一人ひとりのニーズに対応して能力を伸ばし、学級での生活や学びなどの「しやすさ」を支援できると場所と考え、プラス思考で通級を受け止めてもらえるような教室経営を目指していきたいと思います。

3月3日 耳の日

耳の日は、難聴と言語障害をもつ人びとの悩みを少しでも解決したいという、社会福祉への願いから始められたものです。毎年各地で、難聴に悩んでいる方々の相談や、一般の人々にも耳の病気のことや健康な耳の大切さをしってもらう活動がおこなわれています。



めじろ

うぐいす

梅とうぐいす

昔から「梅とうぐいす」が取り合わせのよいもののたえになっており、この時期になると絵などをよく見かけますね。春先に「ホーホケキョ」ときれいな声で鳴くうぐいすは、別名「春告げ鳥」といい、梅とともに春の訪れを告げる2大モチーフです。でも、実際に梅にとまるうぐいす色の鳥はめじろで、うぐいすは茶褐色やオリーブ色の鳥なのです。

白岡市教育委員会

0480-92-1111 (代表)

篠津小学校ことばの教室

0480-91-0017 (直通)

